

類型	b
----	---

(単位:名)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	平成21年度 計画目標値
計画目標値(A)	8	8	8	8	8	8
実績(見込)値(B)	8	8	9	8	8	
乖離値(C) (A－B)	0	0	▲ 1	0	0	0
乖離率(D) (C／A)	0.0%	0.0%	-12.5%	0.0%	0.0%	0.0%

計画最終年度における 未達成の要因	影響人数(単位:名)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
構成団体が当企業団からの職 員受入れを中止したため			1			交代研修派遣職員の受入れがないため	10
合計	-	-	1	-	-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

平成18年4月から、企業団の職員1名を構成団体に研修派遣(人件費は派遣先負担)していたが、構成団体の財政上の理由から人件費を負担することが困難となり、双方の協議の結果、平成21年4月から派遣受入が中止となった。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

研修派遣について今後構成団体等の受入れ体制は不明である。
ただし、10月人事異動により、構成団体からの派遣職員が減員となり、平成22年度以降の決算ベースでは計画目標の8名となる予定である。

(v)改善方針の進捗状況

類型	C
----	---

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	109	109	109	109	109	543	248
実績(見込)値(B)	109	109	106	109	109	540	
乖離値(C) (B－A)	0	0	▲ 3	0	0	▲ 3	292
乖離率(D) (C／A)	0.0%	0.0%	-2.8%	0.0%	0.0%	-0.6%	117.5%

計画最終年度における未達成の要因	影響額(単位:百万円)						備考	やむを得ない事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計		
構成団体が当企業団からの職員受入れを中止したため			3			3	○交代派遣研修職員の受入れがないため ○1名の増員ではあるが、構成団体からの派遣職員の入替わり等により、影響額は300万円増となる。	10
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
合計	-	-	3	-	-	3		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

平成18年4月から、企業団の職員1名を構成団体に研修派遣(人件費は派遣先負担)していたが、構成団体の財政上の理由から人件費を負担することが困難となり、双方の協議の結果、平成21年4月から派遣受入が中止となった。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

研修派遣について今後構成団体等の受入れ体制は不明である。
ただし、10月人事異動により、構成団体からの派遣職員が減員となり、平成22年度以降の決算ベースでは計画目標の8名となる予定である。

(v)改善方針の進捗状況

団体名	野県上伊那広域水道用水企業
会計名	水道用水供給事業会計

⑤ 公營企業債現在高

類型	b
----	---

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	5,851	5,368	4,832	4,272	3,690	6,543
実績(見込)値(B)	6,049	5,497	4,892	4,281	3,660	
乖離値(C) (A－B)	▲ 198	▲ 129	▲ 60	▲ 9	30	2,883
乖離率(D) (C／A)	-3.4%	-2.4%	-1.2%	-0.2%	0.8%	44.1%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
当初計画では一部繰上償還を予定していたが、繰出金の関係ですべて借換で対応したため	198	129	60	9		平成23年度で計画達成となる理由 ○借換の金利が計画より低金利(2.5%→0.8%)となった ○繰上償還から借換に変更した企業債は平成23年度が償還終期である	10
合計	198	129	60	9	-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

平成19年度繰上償還の一部について企業団の自己資金及び構成団体からの繰出金により返済する予定であったが、財政状況等により構成団体からの繰出金の追加ができないとの結論となり市中銀行等からの借換により対応することとなったため目標値より現在高が多くなることとなった。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

(v)改善方針の進捗状況

団体名	野県上伊那広域水道用水企業
会計名	水道用水供給事業会計

⑥ 累積欠損金比率

類型	a
----	---

(i) 推移表

(単位: %)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	252.0	235.0	214.0	192.0	167.0	263.0
実績(見込)値(B)	247.0	224.0	193.0	169.0	142.0	
乖離値(C) (A-B)	5.0	11.0	21.0	23.0	25.0	121.0
乖離率(D) (C/A)	2.0%	4.7%	9.8%	12.0%	15.0%	46.0%

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

	計画最終年度(平成23年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	
分母(営業収益等)	920	920	920
分子(累積欠損金)	1,540	1,310	1,310
累積欠損金比率	167.4	142.4	142.4

分母悪化要因

(単位: 百万円)

要因	影響額(百万円)	備考	やむを得ない事情
合計	-		

分子悪化要因

(単位: 百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない事情
	計画目標値(A)	実績見込値(B)			
平成19年度					
平成20年度					
平成21年度					
平成22年度					
平成23年度					
合計			-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

(v)改善方針の進捗状況